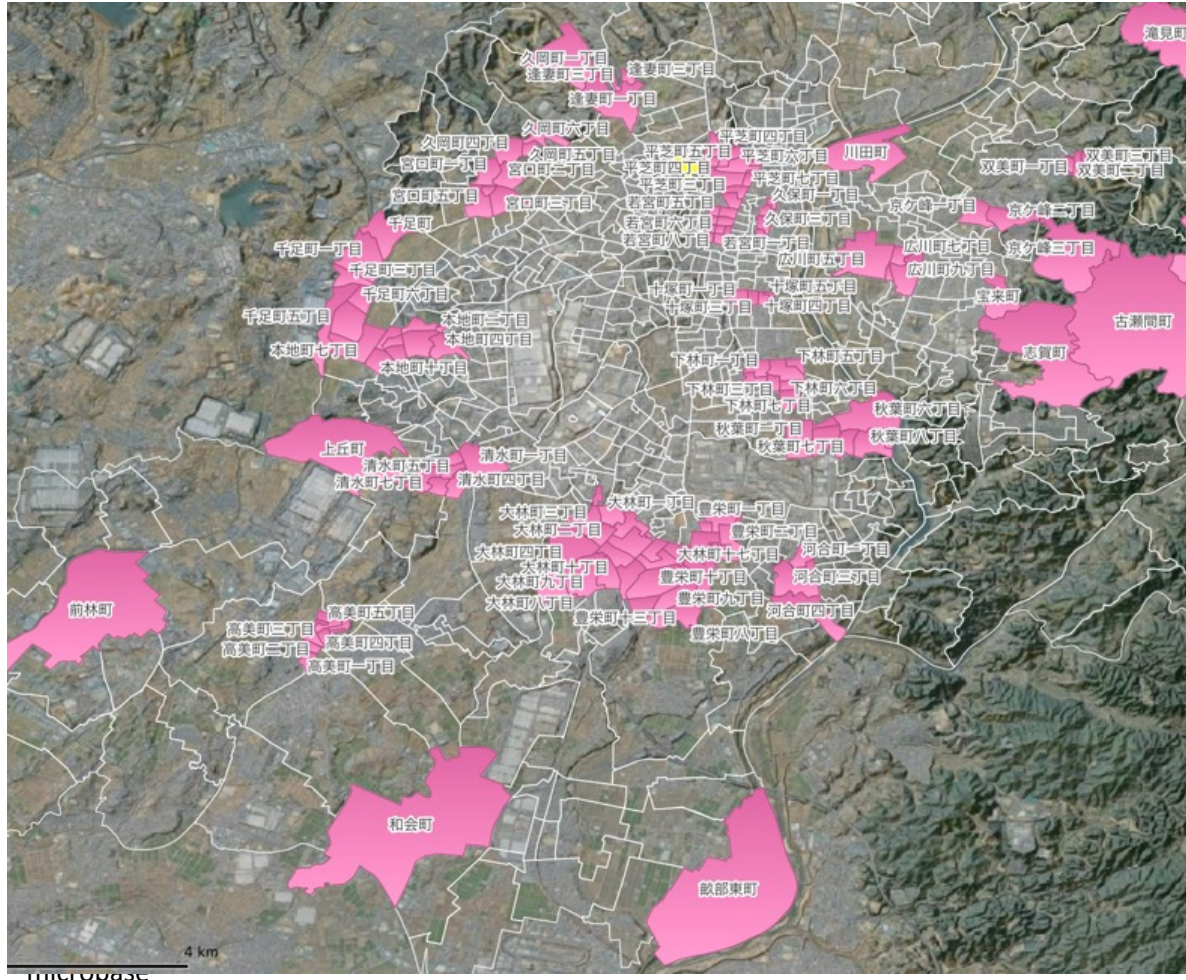


国土交通省令和 5年度空き家対策モデル事業

豊田市における事前意識調査事例

事前所有者意識調査 調査地域の選定

広大な山間地域を抱える豊田市を、市内にある14地区から市街地域・郊外地域・山間地域の3地域に分割。将来空き家予測や持ち家率、高齢化率等から調査対象地域を町丁目単位で絞り込み、調査地域を選定。豊田市との協議によって、対象地域を選定。



選定時における優先項目

1. 全町丁目から高齢化率28%以上、持家世帯率70%以上の町のみを対象
2. 優先順位付け基準：
 1. 高齢化率が高い
 2. 空室予測結果が高い
3. 築年数が15年以上経過している戸建住戸のみを絞り込み。
 - ただし、ポストイング事業者の配布ミスによって、新築等にも配布されていたことが発覚。
 - ポストイングコストと納期の関係で、市街地域・郊外地域を中心に実施。山間地域では遠方地域を除外。

事前所有者意識調査の設計と配布

空き家対策への啓発内容、および、豊田市が提供する補助施策を紹介したリーフレットを作成し、アンケートと同時に配布。豊田市ホームページからも公開し、市民への告知を実施。12月15日からポスティングによる配布を開始。1月15日までの回答期限を設定。試験的にオンラインアンケートを設けたところ、約240件の回答(全体の15%程度)を得られました。

令和 5 年 12 月 吉日

「ご自宅の将来に関するアンケート調査」のご協力について(お願い)

時下、ますますご清栄のごこと、お喜び申し上げます。
さて、ご存じの通り、人口減少に伴い、「空き家」の急増が全国的な社会問題となっており、豊田市においても2,474棟の空き家が確認されています。(平成29年度豊田市調査)
空き家発生を未然に防ぎ、地域経済やコミュニティの活性化に向けた官民連携体制の構築に向けて、マイクロベース株式会社(東京都文京区)では、豊田市の協力を得て、令和5年度国土交通省「空き家対策モデル事業」として、共働で空き家発生の抑制に関する事業に取り組んでおります。
このような経緯から、皆様のお住まいの地区を選定させていただき、建築から20年以上経過したと思われる戸建住宅(ゼンリン調べ)を対象に住宅の将来に関する調査を行うこといたしました。
つきましては、今後の空き家対策を向上させるために、同封の「ご自宅の将来に関するアンケート調査」へのご回答のご協力をお願いいたします。お手数ですが、アンケートは同封の返信用封筒(返送料不要)にてご返送ください。

ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。


アンケートに関するお問い合わせ先
e-mail: contact@microgeo.biz TEL: 03-6824-5316
対応時間: 月曜日～金曜日 10:00～17:00※年末年始 12/29～1/4 を除く

マイクロベース株式会社
東京都文京区本郷3丁目38-10 さかえビル2F

microbase

協力: 豊田市役所 都市整備部定住促進課
愛知県豊田市西町3丁目6番地

豊田市
Toyota City



オンラインでも
ご回答頂けます

1枚目

～【豊田市】住まいの将来に関するアンケート調査～

【ご記入にあたっての留意事項】

- ・本アンケートは、ご自宅の所有者または契約者ご本人様のご記入ください。
- ・大切な住まいの将来に関するアンケートですので、ぜひご家族とご一緒に相談しながらご記入ください。
- ・同封の返信用封筒に入れて、令和5年1月15日(月)までにご返送ください(切手は不要です)。

- 1. お住まいに関する基本情報 (該当項目に○を付けてください)**
 あなたの年齢を教えてください。 40歳未満 40代 50代 60代 70代 80歳以上
 あなたの職業を教えてください。 会社員・公務員 自営業 パート・アルバイト 無職・年金生活者 その他
 お住まいの状況(何人で住んでいる) 同居者あり () 人で住んでいる 同居者なし
 お住まいの地域(郵便番号)を教えてください。 〒□□□□□□□□
- 2. 現在お考えの住まいの将来に関する方向性について、教えてください (該当するものがあれば複数に○をつけてください)**
 ①自分又は親族が居住する ④貸したい ⑦公共目的のために活用したい
 ②建て替える ⑤倉庫、物置として利用したい ⑧現状では未定
 ③売却したい ⑥住み替える予定 ⑨その他 ()
- 3. 現在お住まいのごことで、お困りごとを教えてください (該当するものがあれば複数に○をつけてください)**
 ①特に困っていることはない ⑦異い手がつかない
 ②耐震性能がない ⑧借り手がつかない
 ③今後について家族と話せていない ⑨相続人同士で、意見がまとまらない
 ④今後自宅をどうするか決まっていない ⑩負債があつて返済できない
 ⑤解体費用の出が困難 ⑪相続したが、今後について定まっていない
 ⑥仏壇や家財等の整理・処分ができない ⑫その他 ()
- 4. 住まいの将来に関する準備状況について教えてください (該当するものがあれば複数に○をつけてください)**
 ①特に準備が行っていない ⑫その他 ()
 ②自宅や財産を引き継ぐ人を決めてあり、家族にも伝えてある
 ③自宅や財産を引き継ぐ人を決めてあるが、家族には伝えられていない
 ④自宅や財産を引き継ぐ方針や意思について、遺言書やエンディングノート等を作成・記載してある
 ⑤家財の整理を進めている (またはこれから具体的に進める予定がある)
- 5. 住まいの将来についてお困りごとがあれば教えてください (該当するものがあれば複数に○をつけてください)**
 ①特に相談したいことはない ⑬リフォーム(内容・費用等)、家の維持管理
 ②自宅の修繕や売却に必要な手続き等について ⑭家財の整理方法
 ③住み替える場所の探索 ⑮その他 ()
 ④自宅や財産を引き継ぐ方針や意思の残し方 (遺言書やエンディングノートの作成等)
- 6. 普段お使いの移動手段について、教えてください (該当するものがあれば複数に○をつけてください)**
 ①自家用車 ②バス ③徒歩のみ
 ④バイク(原付含む) ⑤タクシー ⑥自転車による送迎
 ⑦自転車 ⑧車椅子 ⑨その他 ()

令和5年度国土交通省 空き家対策モデル事業

ご自宅の将来に関するアンケート調査の趣旨

空き家問題についてご存知ですか？

豊田市「人口ビジョン」によると、豊田市の総人口は2030年にピークを迎え、2040年には高齢化率が31.3%になるという予測が出ています。2017年に行われた空き家調査では2,474棟の空き家が確認されており、今後も増え続ける見通しです。(令和5年10月1日の人口が41万6880人で推計値よりも人口減少が進んでいます。)

一将来展望人口



出典: 豊田市「人口ビジョン」(平成28年策定、令和3年3月改訂)

空き家発生抑制に向けて

本調査は空き家発生を未然に防ぎ、地域経済やコミュニティの活性化に向けた官民連携体制の構築に向けて、今後のご自宅の将来に関する意識調査を行っております。本資料では空き家を放置するリスクや未然に防ぐための対策について紹介いたします。

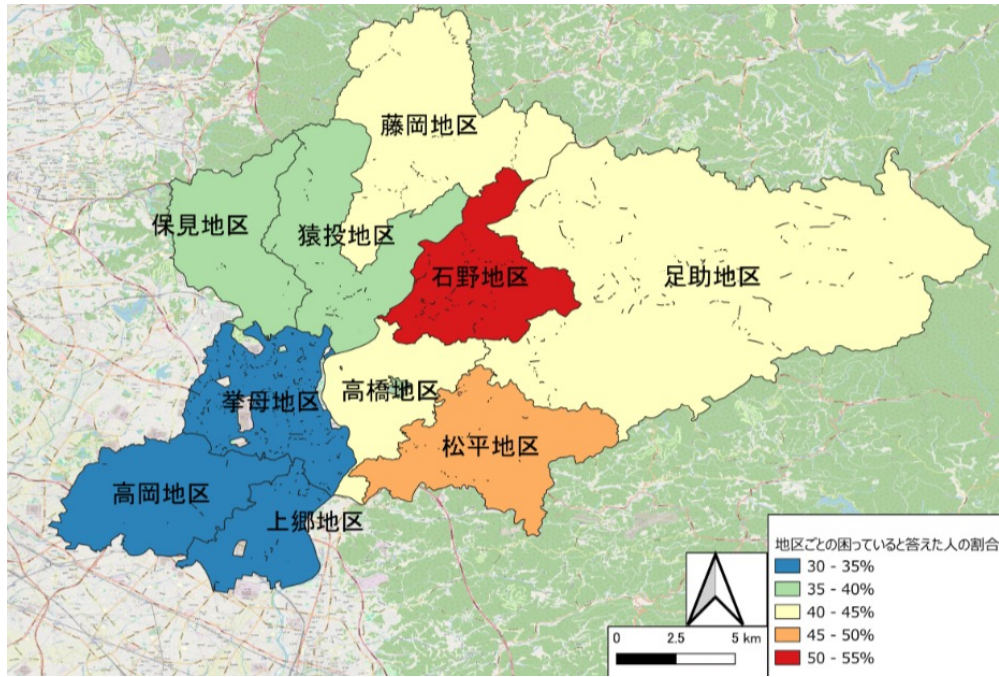
発行元・お問い合わせ先

美 簡: マイクロベース株式会社
東京都文京区本郷3丁目38-10 さかえビル2F
e-mail: contact@microgeo.biz
TEL: 03-6824-5316

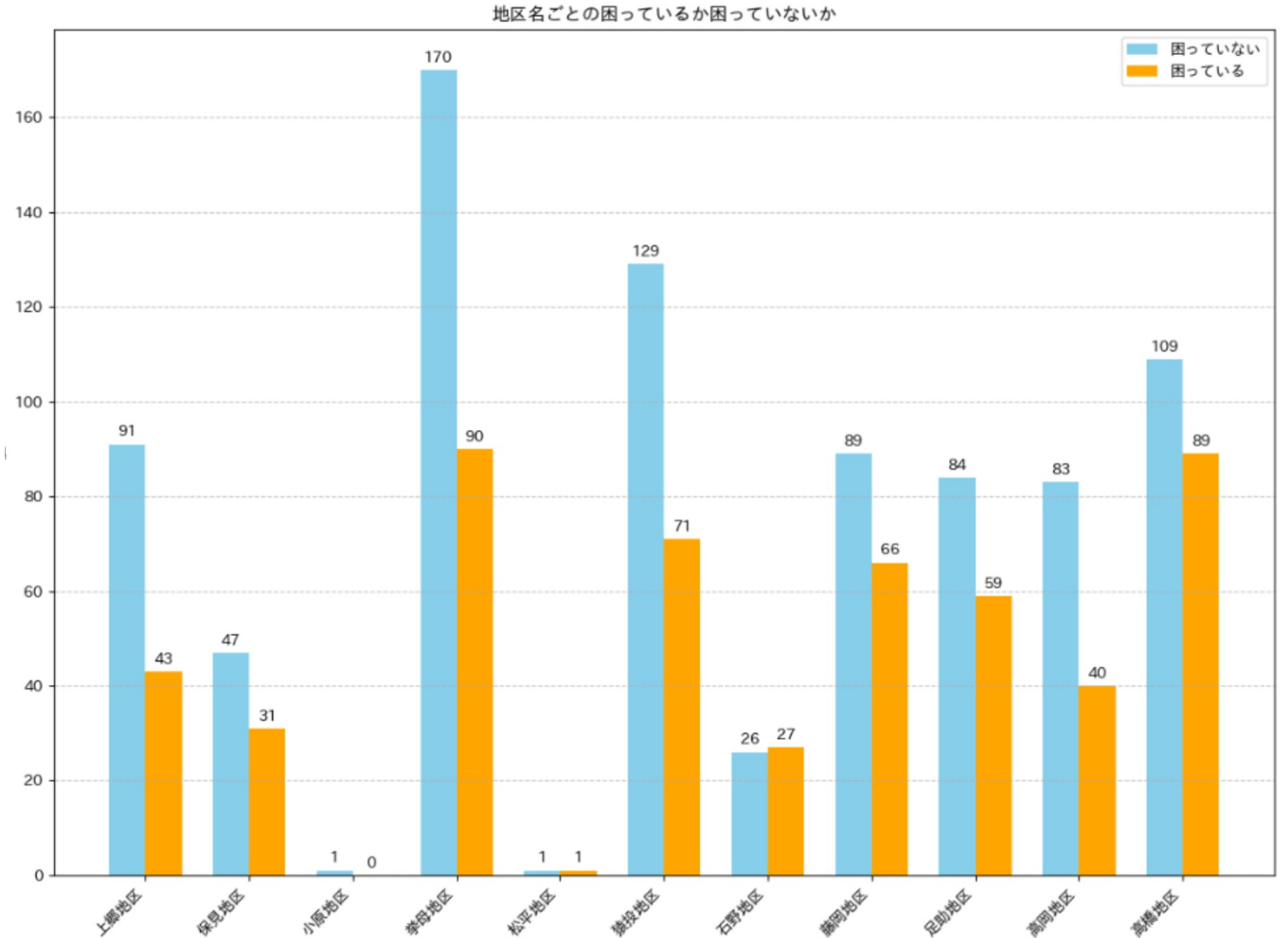
協 力: 豊田市役所 都市整備部定住促進課
愛知県豊田市西町3丁目6番地
e-mail: teijyu@city.toyota.aichi.jp
TEL: 0565-34-6728

事前所有者意識調査のアンケート結果

8000世帯に対してポスティングを実施し、約1550件の回答（約20%）を確認。回答率が所有者意識調査の平均回答率より低い結果となった一方、相談希望割合が高く、対策に前向きな回答が多いことを確認。



- ①売却したい 132件
- ②解体費用の支出が困難 42件
- ③買い手が見つからない 6件
- ④自宅の価格や売却に必要な手続き等について知りたい 79件
- ⑤豊田市や豊田市の協定団体より電話や書類送付等の案内を希望する 73件

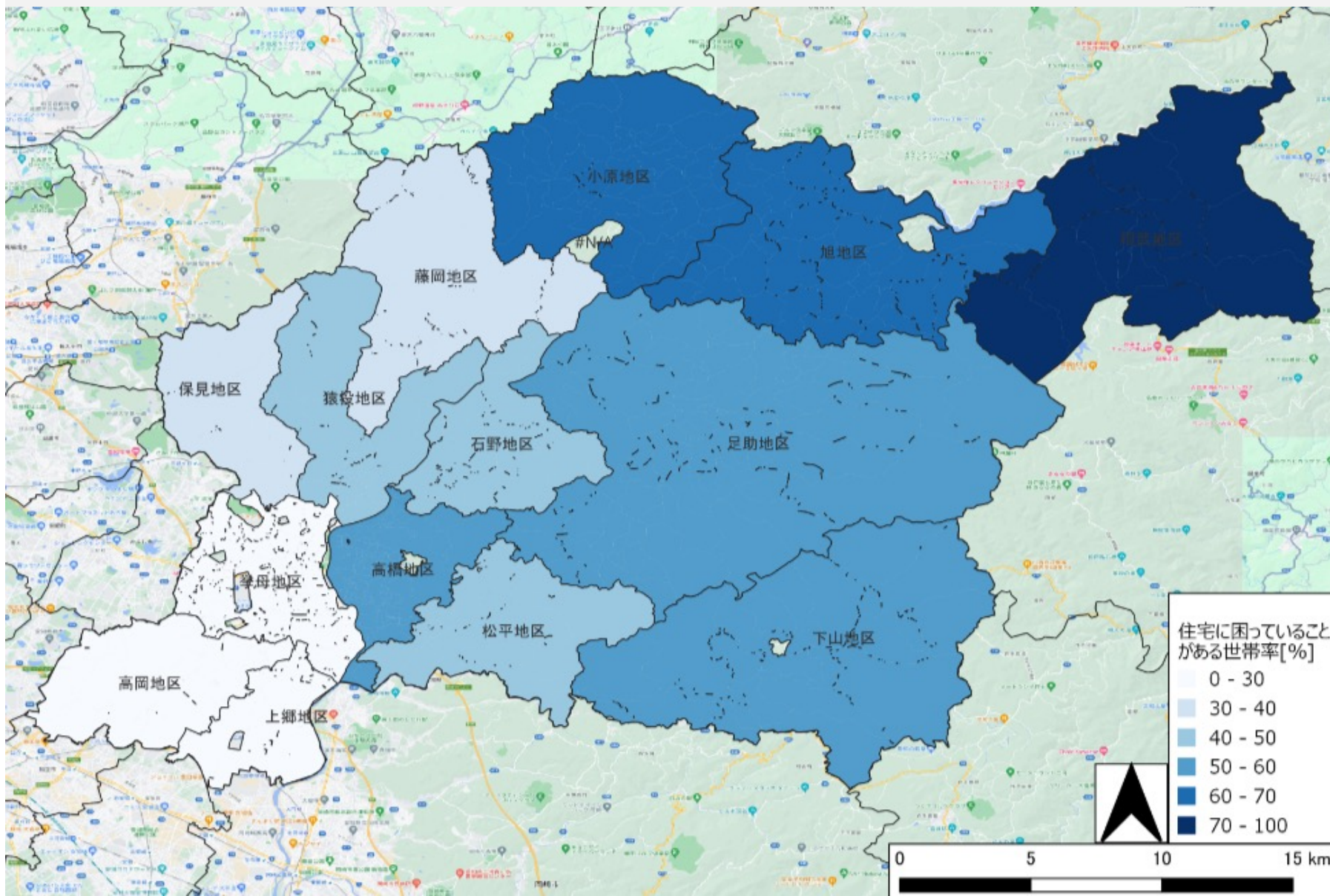


アンケート結果と拡大推計結果 ①「困っている」

※1 選定した町丁目のうち、築15年以上の全世帯に配布。(ポスティング会社のミスにより、誤って築15年未満の住宅にも配布あり)

※2 住民基本台帳から、住定後15年以上の全世帯を対象

郊外地域ほど割合が小さく、山間地域の市中心から遠方エリアほど割合が高くなるという結果が得られました。



アンケート結果 ※1

郊外地域	185/535世帯 (34.6%)
山間地域	153/354世帯 (43.2%)
市街地域	179/458世帯 (39.1%)
市全体	517/1,347世帯 (38.4%)

拡大推計結果 ※2

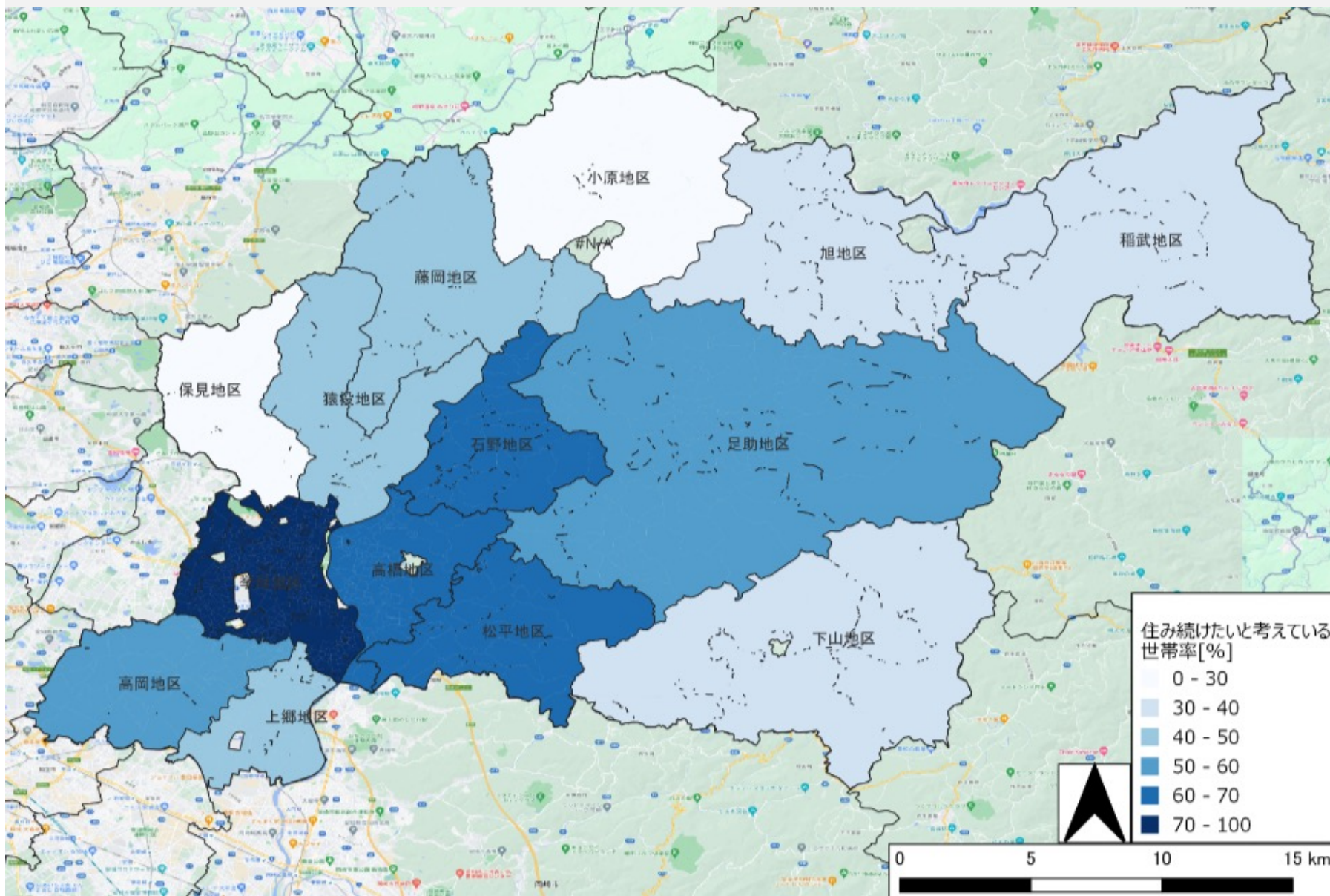
郊外地域	7,031/26,026世帯 (27.0%)
山間地域	5,547/11,348世帯 (48.9%)
市街地域	7,109/22,646世帯 (31.4%)
市全体	19,687/60,020世帯 (32.8%)

アンケート結果と拡大推計結果 ②「住み続けたい」

※1 選定した町丁目のうち、築15年以上の全世帯に配布。(ポスティング会社のミスにより、誤って築15年未満の住宅にも配布あり)

※2 住民基本台帳から、住定後15年以上の全世帯を対象

市街地域を中心に市中心ほど割合が大きく、市北部ほど割合が小さくなるという結果が得られました。



アンケート結果 ※1

郊外地域	274/489世帯 (56.0%)
山間地域	169/342世帯 (49.4%)
市街地域	210/416世帯 (50.5%)
市全体	653/1,247世帯 (52.4%)

拡大推計結果 ※2

郊外地域	12,584/26,026世帯 (48.4%)
山間地域	5,629/11,348世帯 (49.6%)
市街地域	16,340/22,646世帯 (72.2%)
市全体	34553/60,020世帯 (57.6%)